

DES118-1 訂正表

第 118-1 回歯科国試全国統一模擬試験の問題及び解説に不備がございました。下記のように訂正下さいますようお願い申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

A 問題 69 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 76 ページ

選択肢考察

誤 × d 矢状前方顎路傾斜角は下顎が前方運動した際、両側の下顎頭に発現（矢状面）する。

↓

正 ○ d 矢状前方顎路傾斜角は下顎が前方運動した際、両側の下顎頭に発現（矢状面）する。

正解

誤 a、e

↓

正 a、d/a、e/d、e

チェックバイト法により半調節性咬合器で調節するのはどれか。という問題文ですが、「下顎側方運動により」という指定がないため、選択肢 d の「矢状前方顎路傾斜角」も正解となります。

問題の問い方に不備があったため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

A 問題 78 解説書 87 ページ 24 年 10 月 7 日訂正追加

ポイント

誤

絹糸（シルク）	ナイロン	ポリグリコール酸系（PGA 系）
<ul style="list-style-type: none"> ・非吸収性、天然素材 ・モノフィラメント ・縫合しやすく緩みにくいが感染源になりやすい ・口腔粘膜の縫合に使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・非吸収性、天然素材 ・ブレイドが多い ・感染しづらく組織親和性が高いが緩みやすい ・皮膚の縫合に使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・吸収性、合成素材 ・ブレイドが多い ・筋肉縫合、抜糸困難症例に用いられる

↓

正

絹糸（シルク）	ナイロン	ポリグリコール酸系（PGA 系）
<ul style="list-style-type: none"> ・非吸収性、天然素材 ・ブレイド ・縫合しやすく緩みにくいが感染源になりやすい ・口腔粘膜の縫合に使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・非吸収性、合成素材 ・モノフィラメントが多い ・感染しづらく組織親和性が高いが緩みやすい ・皮膚の縫合に使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・吸収性、合成素材 ・ブレイドが多い ・筋肉縫合、抜糸困難症例に用いられる

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

C 問題 28 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 237、238 ページ

選択肢考察

- 誤 × d セファロ分析より FMIA は 1S.D.以内であり、下顎前歯を唇側に傾斜させる必要はない。
○ e セファロ分析より FH 平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角が 1S.D.を超えて大きく、上顎前歯は唇側傾斜しているため、舌側に傾斜させる必要がある。

↓

- 正 ○ d セファロ分析より FH 平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角が 1S.D.を超えて大きく、上顎前歯は唇側傾斜しているため、舌側に傾斜させる必要がある。
× e セファロ分析より FMIA は 1S.D.以内であり、下顎前歯を唇側に傾斜させる必要はない。

正解

- 誤 b、e

↓

- 正 b、d

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、b と d を正答として採点いたします。

C 問題 41 解説書 253、254 ページ、問題集 19 ページ 24 年 10 月 7 日訂正追加

本問は、1 歳 6 か月児歯科健康診査と 3 歳児歯科健康診査の項目で内容（評価方法）が異なるものについて問う出題でしたが、問題文の表現があいまいで正答を得ることが困難となっておりました。

問題文の設定に不備がございましたため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

C 問題 45 解説書 258、259 ページ、問題集 21 ページ 24 年 10 月 7 日訂正追加

本問は、閉塞性睡眠時無呼吸症と医科で診断され口腔内装置を製作することとなった患者について問う出題でしたが、状況設定があいまいで正答を得ることが困難となっておりました。

問題文の設定に不備がございましたため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

D 問題 10 解説書 322、323 ページ、問題集 4 ページ

選択肢

- 誤 e 財源構成の保険料の割合は 25%である。

↓

- 正 e 財源構成の保険料の割合は 50%である。

選択肢に誤りがあり正解が得られなかったため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

D 問題 53 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 371、372 ページ、問題集 22 ページ

問題文

誤 ~3 つ選べ。

↓

正 ~1 つ選べ。

選択肢考察

誤 ○ b 上顎前歯の唇側傾は正中離開の原因となる。

○ c 上唇小帯の高位付着は正中離開の原因となる。

↓

正 × b 上顎前歯の唇側傾斜は正中離開の原因となる。

× c 上唇小帯の高位付着は正中離開の原因となる。

正解

誤 b、c、d

↓

正 d

選択肢 b 「上顎前歯の舌側傾斜」と選択肢 c 「上唇小帯の低位付着」は正中離開の原因とはならないため誤答となります。

設問に不備があり、正解が得られない選択肢があったため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

エムスリーエデュケーション株式会社 歯科事業本部

DES 歯学教育スクール